

令和2年度 古津八幡山遺跡発掘調査現地説明会資料

①古津八幡山遺跡の概要

標高約50mの丘陵上にある弥生時代後期（約2000年前）の大規模な高地性環濠集落で、古墳時代中期（約1600年前）には県内最大の古津八幡山古墳が築かれます。弥生時代から古墳時代にかけての変遷や、北陸や東北との地域間関係など、当時の日本列島の社会情勢を考える上で核となる重要な遺跡であることから、2005（平成17）年に国史跡に指定されました。

弥生時代の環濠に囲まれる範囲は南北400m、東西150mほどです。これまでの発掘調査で竪穴住居60棟、方形周溝墓3基、前方後方形周溝墓1基などが確認されています。環濠は幅・深さとも約2mで、V字形の形状です。この時期、中国の歴史書の中に「倭国乱」の記述があることなどから戦いに備えたムラと考えられています。

古墳時代になると丘陵上の集落は廃絶しますが、直径60mと県内最大の円墳で、越後平野の広い範囲を治めた豪族の墓と推測される古津八幡山古墳がつくられます。



古津八幡山遺跡全景（北東から）

②古津八幡山遺跡の整備概要

2004（平成16）年より整備事業を始め、主要なエリアの整備が終わった2015（平成27）年から古津八幡山遺跡歴史の広場として供用を開始しています。

これまでに竪穴住居7棟や環濠、方形周溝墓2基、前方後方形周溝墓1基、古津八幡山古墳などの復元整備をし、麓にはガイダンス施設である弥生の丘展示館があります。

③今年度のおもな発掘調査成果

史跡をより適切に保存・活用していくため、史跡内外における遺跡の状況把握を目的として、2017（平成29）年から標高約25mの遺跡北東域の史跡指定地外において発掘調査を実施しています。これまでの調査で、弥生時代の大型竪穴建物（SI1）や、掘立柱建物（SB1）などが見つかっており、今年度は大型竪穴建物（SI1）内部を中心に発掘調査を行っています。

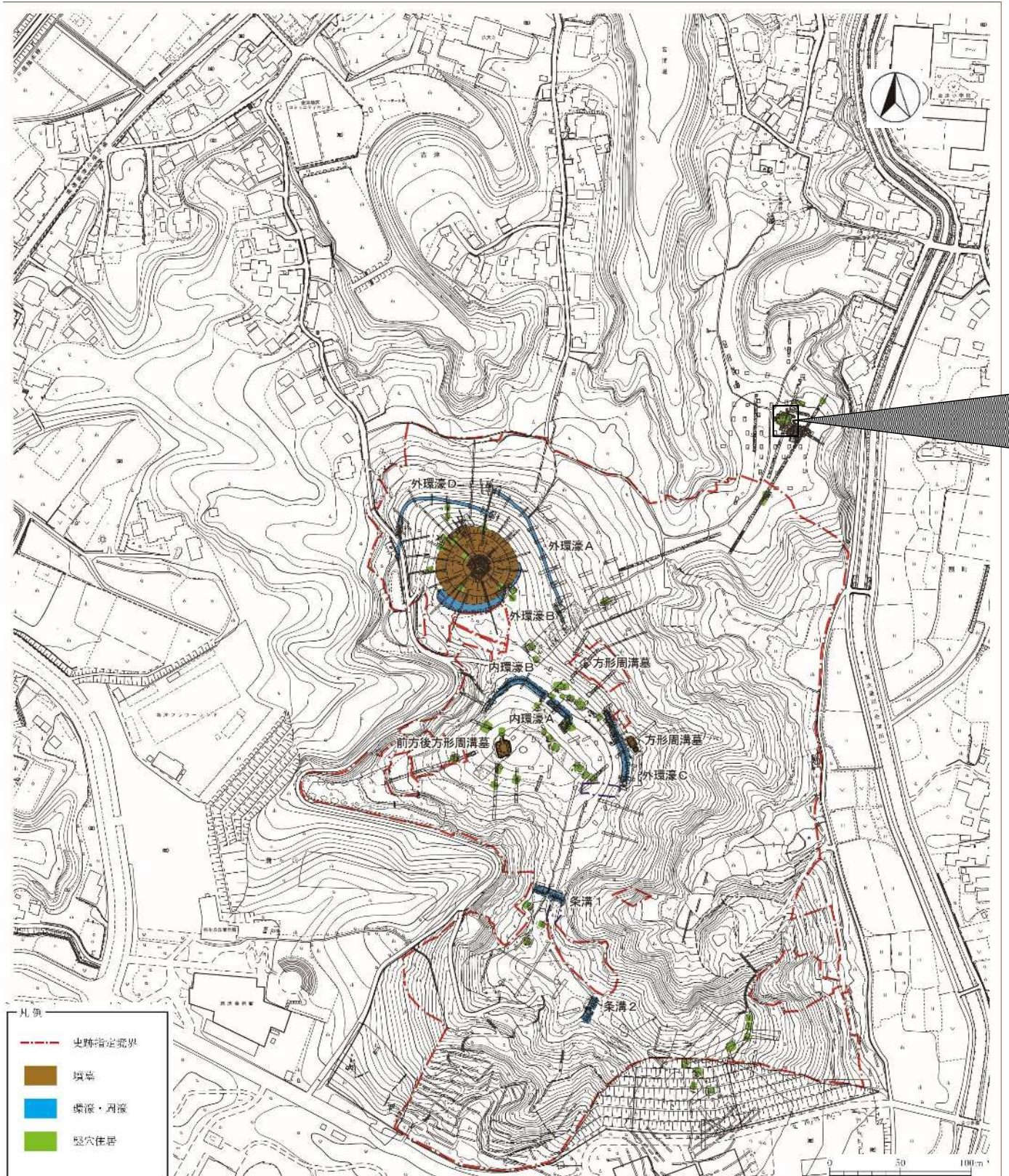
大型竪穴建物（SI1） 建物の平面形は、隅が丸く、やや胴の張る方形の形（隅丸方形）をなし、一辺約9.5mと当遺跡最大の建物です。竪穴建物の壁際には壁溝が巡ります。壁溝は2条確認されており、建物の建て替えが行われたと考えられます。内側の溝の方が古く、当初は不整な楕円形もしくは多角形を呈していたと推測されます。年代は出土土器などから弥生時代の終わり頃（約1800年前）と判断されます。

建物の上屋を支えるための柱は、一般的な竪穴住居の4本よりも多く、6本であったと推定されます。また、通常の竪穴住居で見られる煮炊きを行うための炉や、物資を蓄えるための貯蔵穴は確認できません。建物規模なども含め、居住以外に利用された特別な建物であったと考えられます。なお、壁溝から北側へ延びる排水溝は、県内及び周辺域における当時の建物には基本的に認められないもので、西日本からの影響によるものと推測されます。

竪穴住居（SI465） 大型竪穴建物（SI1）と西側で一部重複しています。住居の形態は隅丸方形をなし、一辺約4mの大きさです。炉や貯蔵穴、4本の柱穴、壁溝から北西方向に延びる排水溝などが確認されました。大型竪穴建物（SI1）を壊してつくっていることから、大型竪穴建物（SI1）よりも新しく、古津八幡山集落における最終段階の住居と考えられます。

④おわりに

大形竪穴建物（SI1）や竪穴住居（SI465）は、弥生時代の終わり頃（約1800年前）の建物で、遺跡の最高所につくられた前方後方形周溝墓と同じ頃と推測されます。古津八幡山遺跡では環濠の一部がすでに埋まっている段階で、環濠の外側において建物が増加していく傾向が認められます。その弥生時代から古墳時代への転換期に、丘陵中腹域において当遺跡最大規模の建物や、排水溝をもつ異質な構造の建物がつくられていることなどは、この時期に古津八幡山集落の中で大きな変化が生じていたことを示しています。弥生時代から古墳時代への集落や社会の変遷や動向を考えるうえで注目されます。



古津八幡山遺跡全体図

2020年（令和2）年度調査範囲

大形竪穴建物（SI1）

竪穴住居（SI465）

壁溝（SD185）

壁溝（SD186）

凡例

■ : 竪穴建物（SI1）

■ : 竪穴住居（SI465）

■ : 掘立柱建物

■ : 建物（SI1・SI465・SB1）の柱穴

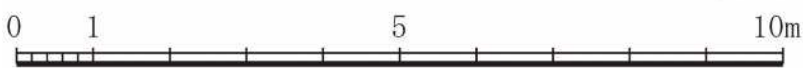
■ : 溝

■ : 炉

■ : 土坑

掘立柱建物（SB1）

2003年度確認調査（第14次調査）トレンチ



大形竪穴建物及び周辺平面図（2017～2020年度発掘調査平面図）



大形竪穴建物（SI1）・竪穴住居（SI465）調査風景（北西から・点線は竪穴住居（SI465）のライン）



竪穴住居（SI465）調査風景（南東から）